・通常号　定価１部 100 円（税込み）・年間購読料 2,000 円（送料含む）

国民民主
KOKUMIN MINSHU PRESS

つくろう、新しい答え。
和歌山版　号外
2020年 6月

国民民主党 国民民主プレス 編集部　〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1
電話:03-3595-9988(代表)メール:press@minshin.or.jp　URL:https://www.dpfp.or.jp

国民民主党 和歌山県総支部連合会　〒640-8156 和歌山市七番丁11-1 アラスカビル5階
電話:073-427-2255　FAX:073-427-2277　メール:info@dp-wakayama.jp
URL:http://dp-wakayama.jp

コロナ対策とコロナ後の世界

新型コロナウイルスが欧米で感染爆発を起こし、世界経済は大きな混乱に陥っています。日本でも、リーマンショックや東日本大震災を超える経済危機が予想されます。私たち一人ひとりが自粛しながら、新型コロナウイルスを抑え込んでいくしかありません。そのこと自体が最大の景気対策となります。

しかし、まずは影響を受ける企業や働く人々を助けなければなりません。会社が倒産したり、事業ができなくなってしまうと元も子もありません。資金繰りが困難な企業や個人に必要な資金を重点的にかつスピーディに支援すべきです。国民民主党は、一人10万円の支給を最初に提案し、実現されました。野党共同会派としては、いち早く家賃対策や学生支援の法案を国会に提出しています。社会的弱者の生活と命を守ることが最優先です。

14世紀のペスト、大航海時代の天然痘やはしか、19世紀のコレラの流行の後、社会は大きく変わりました。今回も、私たちの社会や経済のあり方を変えるはずです。

強欲なマネーゲームの結果、日本ではマイナス金利や日銀による株の買い支えまで許してしまいました。非正規社員を増やすなど人件費コストダウンによる利益を株主配当と自己株取得に回し、内部留保をため込む経営は見直さなければなりません。

グローバル経済の闇も明らかになりました。中国への過度な依存は製造業や観光サービス業もリスクにさらします。また、テレワーク、インターネット授業や遠隔医療など働き方や生活面でのIT化も必要です。行き過ぎたグローバリズムを修正し、気候変動にも対応した持続可能な働き方や、生活の見直しなどコロナ後の新たな世界を考える時です。

国民の命と生活を守る　100兆円の追加経済対策を

収束までの家計支援
1人10万円追加・消費減税　**26兆円** x2

万全の減収補償
持続化給付金の増額と要件緩和　**46兆円** x20

財源は100年債（コロナ国債）

賃金の８割確保
雇用調整助成金・失業給付金の増額　**2兆円** x2

地方財源を拡大
地方創生臨時交付金の増額　**5兆円** x5

学生支援法案
授業料半額・最大20万円の一時給付金など　**2兆円** x2000

医療崩壊を防止
医療支援 緊急包括支援交付金増額など　**8兆円** x40

財政投融資　家賃支払猶予5兆円　経済安全保障のための企業資本強化15兆円

※○の数字は一次補正比

地域の声に答える新型コロナ対策を県・市に届けます

和歌山県議会議員
〈5期〉

浦口（うらぐち） 高典（こうてん） ・福祉環境委員会

平素は何かとお世話になり、改めまして厚く御礼申し上げます。有難うございます。

その後5月には、**関西広域連合会議員**に選ばれ、月1～2回大阪での会議に出席、8月には一般質問に立ち、2025年大阪・関西万博において「健康長寿世界一KANSAI」のパビリオン建設を、と強く訴えました。

また7月から市民活動団体と共同で、**和歌山100歳大学設立準備委員会**を立ち上げ、私が委員長に就きました。本年2月にはその提唱者である國松・元滋賀県知事を招き、ビッグ愛で250名以上の皆さんにお集まり頂き、シンポジウムを開催し、私もパネリストとして熱き思いを語らせて頂きました。

新型コロナウイルス対策では多くの事業者（特に飲食業者）から経済的支援の要望を受け、私の所属する県議会「改新クラブ」の仲間と相談の上、仁坂知事に強く働きかけて、和歌山県独自で20～100万円の支援金を出すことに決まりました。今後も県民の皆様の視点に立ち、精一杯頑張って参ります。

和歌山市議会議員
〈4期〉

永野（ながの） 裕久（ひろひさ） ・経済文教委員会

昨年の改選後、**和歌山市議会経済文教委員長**の重責を仰せつかりました。この一年余りの間、これまでの課題に加えて、和歌山市断水騒動、新型コロナウイルス感染症などの大きな問題が加わり、非常に中身の濃い一年でした。これらの課題に対し、ひとつひとつ真剣に取り組んで参りました。本会議場では、**「社会資本の老朽化対策について」、「商業施設における期日前投票所の新設について」、「就職氷河期世代の就労支援について」**などの行政改革を提言。手前味噌ながら、それぞれ一定の成果をあげることができました。今年は市議会議員として丸10年の節目の年になります。今現在も現場主義と対話をモットーにした信念はぶれることなく、日々市議活動に精進しています。このように**「生活者満足度No1和歌山市」**を目指して汗をかくことができるのも、4期目の議席を与えていただいた市民の皆様のお陰だと存じます。この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

和歌山市議会議員
〈1期〉

山中（やまなか） 敏生（としお） ・総務委員会

和歌山市議会議員として活動させて頂いて1年が経ちました。和歌山市は、令和元年度で3508億円の借金があり、基金（家庭でいうところの預金）には41億円しかなく、震災やリーマンショックのような大不況があった場合、対応できないばかりか、将来世代に重い負担を残してしまいます。今年度の初議会で改善を求めたばかりですが、言った矢先からのコロナショック。和歌山市でも多くの市民が困難に直面しています。県・市でも子育て世代の代表として、**この和歌山で安心して産み、育て、生活できる街をみなさんと一緒になって作り上げたいと思います。**

学生への支援を強化します

つくろう、新しい答え。

未来への投資 法案の3つの柱

1. 大学・大学院・短大・専門学校等の授業料を1年間 **半額免除**
2. アルバイト収入が減った学生に **最大20万円**の**一時金支給**
3. 2020年度分の奨学金の **返還免除**